

立地適正化計画の改定

立地適正化計画とは？

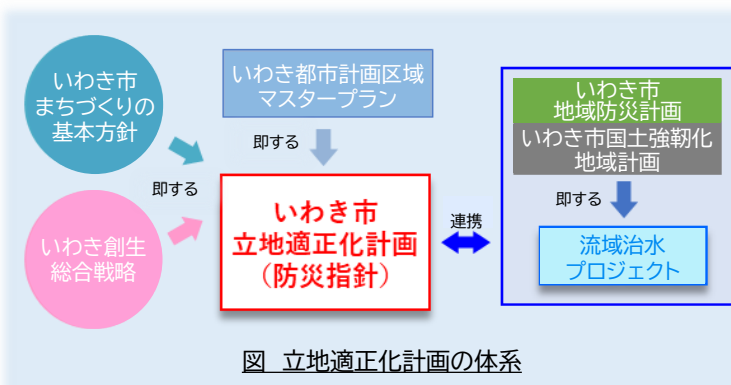
立地適正化計画は、人口減少や少子高齢化社会に対応し、日常生活に必要なサービス(都市機能)や居住地を計画的に誘導・集約することで、持続可能なコンパクトシティの実現を目指すまちづくりの基本計画です。

令和7年7月に「防災指針」を追加しました！

頻発・激甚化する自然災害への対応を目的として、令和7年7月に立地適正化計画を改定し、「防災指針」を新たに追加しました。

防災指針とは？

誘導区域の設定にあわせて、災害リスクを避けつつ、都市の安全性と防災機能を確保するための方針です。



どんな内容？

災害リスク分析の結果を踏まえ、流域治水アクションプランや国土強靱化地域計画と連携し、防災機能を確保するための取組みとして、45の施策(ハード・ソフト・避難対策等)を位置付けました。

▼詳細はこちら



浸水センサの設置 (試行的な取組み)

概要

市では、内水氾濫に対するセンサの有効性を検証するため、国の実証実験に日本工営(株)と共同で参画し、浸水の危険性がある地下道や水路などにセンサを設置しました。

設置箇所

42箇所

(平、小名浜、勿来、常磐、内郷、久之浜・大久)

浸水状況の確認

リアルタイムの浸水状況は、令和7年6月2日より「浸水センサ表示システム」で試行的に公開しています。※

※ 実証実験のため異常なデータが表示など不具合が発生する可能性があります。



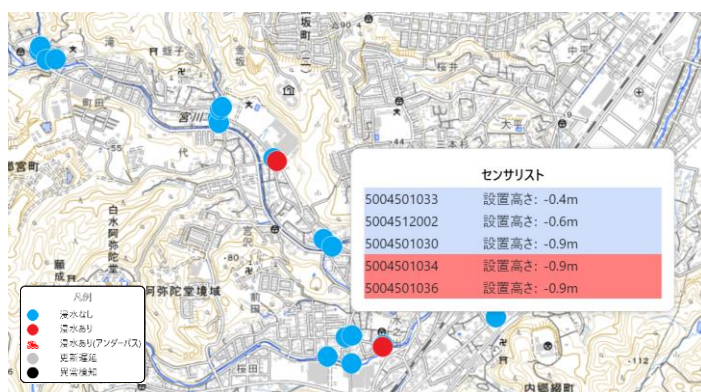
浸水センサ表示システム



太陽無線/太陽誘電製のセンサ



京セラ製のセンサ



浸水センサ表示システムのイメージ

(次項へ続く) 1

夏井川流域住民による川づくり連絡会の取組

夏井川流域住民による川づくり連絡会の概要

私たちの会は、田村市(旧滝根町)を水源としていわき市平の市街地を流れ太平洋に注ぐ夏井川において、流域の住民が主体的に治水、利水、河川環境等の諸問題に関わっていこうとする団体で、2000年(平成12年)10月に発足しました。現在の会員数は58名、団体会員5団体、賛助会員13団体で活動しています。

会の略称は「夏井川流域ネットワーク」です。



活動内容

キャッチフレーズを「子供たちの笑顔が見える夏井川をめざして」として、夏井川の河川環境を通じて、みんなで調べる、学ぶ、楽しむ、安全に遊ぶ、環境を守る、を主とした様々な活動を行っています。(右表・下写真)

夏井川流域ネットワーク 主な活動一覧表

項目	実施回数	内容
夏井川流域一斉水質調査	年1回	旧滝根町から河口まで支川含めて27地点の水質調査
小学校環境学習支援	適宜	川の現地観察、水質調査、水生生物調査
防災・水辺教室	年1回	一般市民を対象とした防災・水辺講座、水生生物調査
水辺教室・環境学習支援	適宜	企業からの要請で水質調査、水生生物調査、カヌー体験
夏井川かわく다리	年1回	カヌー・ボート・サップ体験等の川遊び
夏井川沿いウォーキング	年1回	河口から源流に向かい毎年少しずつウォーキング
地区懇談会	適宜	夏井川に接する市行政区住民との意見交換
他団体交流会	年1回	県内水環境活動団体との交流会、全国交流会も
研修会・講演会	適宜	河川に係る研修会に参加、要請あれば講師として発表も
会報	年2回	活動内容の案内と結果報告
世話人会	毎月1回	行事等の具現化等の意見交換、県・市もオブザーバー参加
清掃	毎月1回	河口(右岸)、新川アリオス横、河川防災ステーションの3地点を主



流域一斉水質調査



小学校環境学習支援



防災・水辺教室



夏井川かわく다리



ウォーキング



地区懇談会



講演会



清掃(新川)



令和7年度
福島県水環境
活動団交流会
IN広野

当会は誰でも参加できます。一緒に夏井川で楽しみましょう！！

次号の内容(予定)

- ・ 田んぼダムの設置について
- ・ 河川洪水ハザードマップについて
- ・ 企業との連携について

お問い合わせ先

いわき市 土木部土木政策課河川政策担当

Tel : 0246-22-7492